



小田原城北 ロータリークラブ

例会場及事務所

毎週 火曜 12時30分
〒250-0211
小田原市鬼柳172-9
小田原卸センター内会議室
TEL 0465-37-1222
FAX 0465-37-7377
http://www.odawarajhrc.jp
E-MAIL :info@odawarajhrc.jp



会 長 中村 維孝 幹 事 竹村堅一郎
副 会 長 露木 清勝 副 幹 事 金山 慶昭
クラブ会報委員会 大川 誠委員

DISTRICT No.2780 KANAGAWA JAPAN

BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS 地域を育み、大陸をつなぐ

第1684回

点 鐘 中村 維孝会長
司 会 露木 清勝副会長
斉 唱 「我等の生業」

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
12月14日	54(48)	35	4	81.25%
12月7日	54(48)	42	1	89.58%
11月30日	54(48)	41	1	87.50%

【出席報告】柳井 渉委員長

【欠席者】 13名

本多 純二・井上 寛・田代 博信・石崎 孝
杉山 市好・金山 慶昭・志澤 昌彦・一寸木 信雄
須藤 公司・三宅 常公・佐須 智明・所 真人・西 寛

【今回メーキャップ】

本多 純二(地区セミナー)・石崎 孝(国際奉仕)
井上 寛(足柄RC)・金山 慶昭(足柄RC)

《慶事祝福》

【誕生日】

須賀 俊和さん(12月7日)

【結婚記念日】

田代 博信さん(12月8日)・村瀬 雅實さん(12月8日)

【奥様誕生日】

石内 ひとみ様(12月7日)

2010年12月14日(晴)第1528号

会 長 挨 拶

中村 維孝会長

だいぶ寒くなりました。風邪などひかないよう頑張ってお参りしましょう。

さて、私は一昨日昨日と鳥取県の米子に出張で行ってまいりました。昨日時間が取れたので、電車とバスに乗り継いで、1時間ぐらいの三朝町という町を訪問しました。実は、この町に5年前に青少年交換学生として、一年間預かったフランスのクリステルプッチが住んでいるのです。彼女は、昨年の7月より三朝町の企画観光課の職員として採用され国際交流の仕事しております。来年の7月でちょうど2年の契約が終わり、フランスへかえる予定になっているようです。三朝町は、人口7000人ほどの山間の小さな温泉町ですが、世界有数のラジウム温泉で知られています。この温泉はホルミシス効果をもたらす健康に良いお湯で、住民の癌の死亡率が全国平均の半分だそうです。

現在は市報に毎月コラムを書いたり、ラジオ番組のパーソナリティを勤めたり、学校へ行ってフランス語講座を開いたり、仕事を頑張っているようです。三朝温泉観光センター前という停留所に着くと、クリスマスが軽自動車を飛ばして迎えに来てくれました。そのまま投げ入れ堂まで行きましょうというので、10分ほど走ると三徳山の中腹の岩山の崖に建てられた、お寺が見えてきました。その横に今にも落ちてしまいそうに岩肌に張り付いているお堂があります。日本の国宝になっているようですが、よくもあんなところに、お堂を作ったなーと感心します。1000年も前に、役行者がふもとで組み立て法力で投げ入れたといういわれが残っているそうです。今、世界遺産に申請をしているそうです。

久しぶりに会ったので、昼食をとりながら楽しいひと時を過ごしました。住んでいるアパートへも寄ってコーヒーをご馳走になりました。本当に温泉以外は何も無い所で、コンビニも軒しかなく、買い物は鳥取市まで行かなければならないし、たまに大阪あたりまで足を伸ばして遊びに行くそうですが、すぐに三朝町に帰って来なくなってしまうといっていました。三朝の人は皆やさしくて、帰ってくるとホッとするそうです。完全に三朝の住民になっていました。

来年4月10日の35周年には皆に会いに小田原に来るとの事ですので、楽しみにしててください。

今年、小田原城北ロータリークラブは創立35周年です。

歴代会長



第26期 2000~2001

会 長 河野 秀雄
R.I会長 フランク・J・デブリン(メキシコ)
ターゲット 「一色を喚起し一進んで行動を」
ガバナー 小沢 一彦(横須賀)
分区代理 小松 雄成(湯河原)



第27期 2001~2002

会 長 清 康夫
R.I会長 リチャードD・キング
ターゲット 「人類が私たちの仕事」
ガバナー 竹内 万也(秦野)
分区代理 山路 裕昭(足柄)

- ①35周年実行委員会が本日18:00より市民が学習センターにて開催されますので、部会の皆様はよろしくお願ひします。
- ②お配りしたIMの私の趣味特技に記載をお願いします。
- ③来週は忘年家族会です。
- ④ロータリー親睦テニス大会の記事が神奈川新聞に載りました。

ニコニコ箱

劔持 悟委員長

鈴木 吉兵衛様 (小田原RC) 毎度、お世話になります。

川田 隆志様 (小田原RC) 2年ぶりのメーキャップを城北クラブさんにお邪魔しました。よろしくお願ひします。

菊地 義雄さん 1. 白崎様、卓話よろしく。2. 女の初孫が生まれました。3. 東京スカイツリーの第一展望台に我が社の製品が昨日上がりまして。

卓話



たかとりが明かす日本建国

白崎 勝

たかとりとは、たかとり山の事で全国に沢山あります。漢字が2種類あるのでひらがなで書いております。1つは「高取山」もう1つは「鷹取山」です。若いころに丹沢の山々を歩いた時に所々でたかとりやまを見つけ、同じものがあるなと思ひました。そこで、神奈川県のとかとり山を調べました。丹沢の周りに高取山が3つあります。それと対になるように鷹取山が3つ見つかりました。横須賀の鷹取山から大磯の鷹取山を結ぶと富士山につながっておりこれは偶然ではなく、人の心が入っていると思ひました。そこで、高取山から鷹取山を結ぶ線は日本武尊の歩いた方向、高取山から鷹取山に歩いたと考えました。しかしこれは神奈川県だけの偶然かもしれません。そこで全国のとかとり山を調べました。全国には高取山が18、鷹取山が17見つかりました。1つ違ひますがほぼ同じという事で確信を持ちました。奈良県の所だけ鷹取山がありませんので奈良県より東を日本武尊、西はそれ以前にあった神武東征の足跡ではないかと考えたのです。日本建国のことについては、古事記や日本書紀に書かれておりますが天照大神から数えて6代目の神武天皇兄弟が高千穂の峰で相談して日向から出発して船で奈良の橿原に建国したと書かれております。しかし謎が4つほどあります。1つは当時、文化的に進んでいたのは北九州なのに田舎の日向から出発したのだろうか？2つ目は、宇佐まで進んだ後、そのまま東に進まないで北九州の岡田宮に1年いたという事ですがなぜここに1年もいたのだろうか？3つ目は瀬戸内海を進むのに古事記で16年、日本書紀で6年と書かれて

いるのですが、なぜ船で進むのにそんなにかかるのだ？4

つめは太陽を背にして戦うということで一回熊野に進むのですが今でも険しい場所なのに本当にこえたのだろうか？などが疑問になっていますので、戦後これは神話とされてしまいました。そこで新たな説が生まれました。近畿説というもともとあった邪馬台国が大和に建国したというのがメディアでは一番盛んです。私が言ってみつけたのは九州説で九州にあった邪馬台国が東征して大和に建国した。他には、騎馬民族説で大陸から騎馬民族が来て新しい王朝を設立したなど色々あります。九州にもびっぴりの対が見つかり3対で朝倉の所に三角形を作り集中しております。これは和国連合したのではないかと考えております。高千穂宮で相談した兄弟はいったん北九州に進みそこで九州の人達と和国連合した。本隊は岡田宮方向に直接進んだ、神武天皇は高千穂峰の横にある鷹取山にいったん戻り戦いの準備をして出発したというように読み取れたのです。

神武東征の経路ですが、いったん南に戻り、宮崎に下った神武天皇は西都原を出発した事が分かっております。そこには古墳群がありますが古墳群の真横に高取山が見つかりました。そして船で宇佐に立ち寄っているのですが宇佐神宮の横に鷹取山がありました。そして岡田宮に進んでおりますが、岡田宮の所から陸上隊が進んでいるようで、高尾山を山陽道路の所に直線で配置しているのです。宇佐から隠岐の島までも千山の真上を通過させて隠岐の島に直線をつくっております。ですので、山陰にも進んだということです。そして隠岐の島から足摺岬の土佐清水に鷹取山がありここにも直線を残しているのです。そして四国を巡り、広い丹波をも巡っているということが分かってきました。これだけ進めば16年か6年かかったのも納得いくのではないのでしょうか。

日本武尊は走水を超え、日立を超え日立から船でいったん八戸まで進み八戸から南に向かったということが見えてきました。色々な線が富士山に向かっており、日本武尊は富士山こそ日本(ひのもと)の中心だと考えそれを残そうという意味が見えてきます。日本武尊は日本坂とか日本平など日本という地名を残してきました。酒田まで進んでいるのですが、酒田には日本国という山があるのです。それともう一つ日本平山というのがあり、その二つの山を結ぶと富士山にまで繋がっているのです。こうして見てきますと、日本建国という東征は北九州から大陸から攻めてこられても大丈夫なように都を日本の中心に移す作業、灌漑農業を各地に伝える作業、鉄の文化を各地に伝える作業、峠道をひらく作業、村々に名前をつけたり、銀や鉄などの鉱物を探す作業、そして地方の長を信任したり、任命する作業、先祖を祀る一宮を各地に作って、その文化を伝えた作業だったのだと思ひます。我々が今ある事は、先人の努力のおかげです。今一度思い出して、今ここに我々がある事を感謝するのも人として大切なことではないのでしょうか。

次週12月28日は休会です。次回新年1月11日は「新年例会(河鹿荘)」です。